

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-61)、  
廃棄物管理施設(36))」
2. 日時：令和5年6月6日(火) 10時00分～12時35分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
核燃料施設審査部門  
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)  
長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、羽場崎主任安全審査官、上出  
安全審査官、武田安全審査官  
日本原燃株式会社  
決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他2名  
関西電力株式会社  
原子力事業部 プラント・保全技術グループ マネジャー  
三菱重工業株式会社  
原子力セグメント 安全高度化対策推進部 主幹プロジェクト統括  
株式会社大林組 原子力本部 設計第一部 担当部長  
東電設計株式会社 土木部耐震技術部 担当職

5. 要旨

- (1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年6月2日、  
6月5日及び当日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。
  - ・入力地震動の算定に用いる地盤モデルの検討方針
  - ・表層地盤の物性値における一般的・標準的な手法と六ヶ所サイトへの適用  
について
  - ・表層地盤の物性値に係る検討について
- (2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。
  - ・地盤モデルについて、新規制基準以前の設工認で認可されたモデルを基準  
地震動の変更等があった現在も使用して問題ないとした当初の考え方の  
振り返りを行うとともに、改めて設計の上流から本来あるべき姿と敷地の  
実態を把握するために確認すべき項目を整理して説明する。

- ・表層地盤の説明について、まずはいくつか分かれる工事時期毎に埋め戻し土の品質管理状況やボーリングデータ等を整理して説明する。

## 6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

- ※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

## 7. その他

「表層地盤の物性値における一般的・標準的な手法と六ヶ所サイトへの適用について」

## 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請

を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)

- ・ 令和5年6月2日  
「日本原燃(株) 再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年6月5日  
「日本原燃(株) 再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
00:00:01	原子力規制庁の竹川です。それではただいまから日本原燃のヒアリング、
00:00:08	本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった設工認申請について、
00:00:14	6月2日及び5日に提出があった資料にヒアリングを行うこととなります。
00:00:20	まず規制庁側の出席者ですが、本庁側から割く調査官、濱崎岸野、竹田、WEBからの参加が紙で非常になります。
00:00:31	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、本日のヒアリングでの説明範囲、達成目標について説明お願いいたします。指摘
00:00:41	はい。日本原燃の大橋でございます。本日の日本原燃側の出席者でございますが、まず日本原燃側より、決得、加瀬山口、あと、関西電力さんから野本さんが、東電設計さんから古野さんが、
00:00:57	三菱重工さんから佐藤さん、大林組から和田さん。以上の7名が出席してございます。
00:01:03	所感
00:01:05	出席者なしで
00:01:20	はい。本日のヒアリングでございますけれども、事前に昨日提出させていただきました、入力地震動算定用いる地盤までの検討方針で、まずは全体のですね我々の検討方針について、
00:01:33	まとめて参りましたのでこれをご確認いただくというのがまず一つ目でございます。それから、先週ですね6月2日に提出させていただきました表層地盤の分析に係る検討についてということで、
00:01:46	表層地盤の設定についての説明資料をご提出しておりますけれども、少しですねこの資料につきまして、その最初の5日にご提出した資料を基にですねこの
00:02:02	2日の提出資料というのが、少し前段のですね位置付けと書き足りていないというところもございましたので、ちょっと今日ですね本日の
00:02:13	持ち込みで申し訳ないんですけども、少しペーパーを少し、1枚、準備させていただきましたので、それを先にご説明させていただいた後に、艇庫の2日のご説明しよう。

00:02:26	いうところで、ご説明させていただきたいと思います。本日の達成目標ですけれども、まずはこの地盤モデル検討費についての大枠の話について、ご確認いただくということとともに、表層地盤の物性値の設定の考え方についてご確認いただくと。
00:02:43	が本日の目標でございます。以上でございます。
00:02:49	すいません、関西電力の後藤でございます。
00:02:56	では、
00:02:59	ヒアリング始めるにあたって何かございますでしょうか。とりあえず、
00:03:19	僕から出席しているんですけども、これは傍聴だけで、はい。じゃなくて、上出に共有したいんだけどっていうのは表示でっていうことね。
00:03:32	なるほど。
00:03:34	表示では今、紙ですけど、今、Web で表示されているので大丈夫です。はい。
00:03:40	規制庁の竹田です。それでは日本原燃の方から
00:03:45	はい。関西電力野元でございます。それではまずですね A4 横の横長の資料でございます。入力地震動の算定に用いる地盤までの検討方針の
00:03:55	方からのご説明でございます。この資料はですね以前に、進め方についてのヒアリングで、確認させていただきましたけどもその後ですね、ご議論いただいた内容等も踏まえまして、
00:04:10	そもそもの考え方というのを一番頭に持ってくる形で、リバイスしてきたものでございます。補足は以上でございます。広くご確認いただいているかと思しますのでコメント等ございましたらばよろしく願いいたします。
00:04:24	規制庁、
00:04:33	あ、すいません古作です。先ほど区まず配ったものから説明すると言われたような気がしたんですけど、この後の、この表行く前にこれちょっと話したいんですけど、
00:04:45	古作です。です。
00:04:49	5 日の資料もう何かすごい上辺でしかなくて、
00:04:54	上辺なんだけ同そのはじめにと言ってるのは、表題からもなんですけど地盤モデルの検討におけるはじめにでしかなく、
00:05:04	位置付けが非常によくわからない。
00:05:06	はい。です。

00:05:08	で、地盤モデルルーに関する方針だとすると、こんな上辺
00:05:14	だけだと、結局4石って何なんだよとか4市のことをどこまで話をしなきゃいけないんだよっていうのがわからなくて、
00:05:24	その結果として次の、今日配られた紙になってるんだと思いますけど、
00:05:30	この紙だって上辺でしかなくて、
00:05:34	こんなんじゃあ何度のパラメーターどれだけ議論しなきゃいけないかな、わかりようがないと。
00:05:40	いうことがあって、どういうつもりで作業してるんですかっていう気がするんですけど、濱崎さん、どうぞ。来ちゃうわけですから多分今日配られてるの、これは表層の話だけど、そうですね。はい。
00:05:54	長さんが言われた話では、今日の資料2は問題。
00:05:58	それで、
00:05:59	今日、昨日の日付の資料の、この章の位置付けが、唐突に、いわゆる4課題が出て、
00:06:07	ということで、これ前回のヒアリングでもお話したと思うんですけども、設計地盤モデルを、
00:06:13	策定する上でのまず、原燃としての申請の時の方針があるわけですよね。
00:06:20	どういう方針で、システム作りましたかという話があった中で、それがいわゆる直管標準的な方法との最後。
00:06:30	我々の方が指摘したわけで、
00:06:32	それを確認しましたと。その結果、いろいろやっぱり課題が出てきたと。うん。いうことが今までの経緯だと思いますので、その上で要因分析をした、四つ、
00:06:44	こういうファクターが出てきたところということで、これ、それぞれに対しての検討をこれから今行ってますという位置付けで、だから現状の中で検討とえば、新生物に関しては、
00:06:56	定数に関してはPS検層ないと。
00:06:59	結果を使いますだとか、下水に関しては、逆にとづいてへん設定しますと、そういう方針があるわけなんで、それが、
00:07:09	いいのか悪いのか。はい。それを確認するために現在、こういった要因市のかつて検討してるわけです。
00:07:16	そういう位置付け、長年、

00:07:18	そもそも原燃はどういう形で申請モデルを考えていたの。はい。それに基づいて課題が出てきたので、今検討形でやっているのかというと、
00:07:29	ね。
00:07:30	いう、そういう全体の流れがまず、はい。
00:07:35	あるべきではないかなというのが先週だったかな。ヒアリングで、こちらから言ったつもりなんですけど、伝わってなかったというふうに思っています。
00:07:45	ので、
00:07:47	あんまり、今回の5日の資料についても、それが反映されてないというところですね。はい。
00:07:56	関西電力の郷でございます。申し訳ありません承知いたしましたえっです。現在の資料は、今おっしゃっていただいたように今までの申請の経緯っていうのが、これが確かに書かれていなくて、今おっしゃっていただいた、現在の他地域、
00:08:11	からスタートしてるような書き方になってしまってるということで、そのご指摘をちゃんと正しくとらえられていなかったということは今認識いたしました。ですのでこれはその前段の、
00:08:23	経緯のところをきちんと書く形でこれはまたリバイスさせていただきたいと思っております。以上でございます。はい。次長までの経緯、経費という取引
00:08:33	時刻歴の作業内容といいますか、メーカーになるんですけど、そこでやはり内容を先ほど言いました、どういう条件、どういう考えて、
00:08:44	中ですね、あそこが差分となって、うん。
00:08:49	いわゆる基本モデルとの差となって現れて、はい。
00:08:53	はい。
00:08:55	きちっと、
00:08:56	そうですねあんまりつもりもなかったんですけど、多分、
00:09:01	今、
00:09:01	わかりましたって言ってるじゃないですか。
00:09:05	もう何ヶ月かやってるんだよねって話。はい。
00:09:10	わかりました。多分わかってないんだよね。毎回わかりましたで違うのでできちゃって、
00:09:20	はい。

00:09:26	この後、
00:09:43	皆さんは
00:09:57	うん。
00:09:59	浅尾ちゃん
00:10:14	はい。監査役の方でございます。
00:10:17	はい。
00:10:22	はい。関西電力の郷でございます。今、なぜこの客観的なところ、客観的な検討というのが今必要なところに、今立ち至っているのかと。
00:10:32	ということにつきましては、今までも随分とやりとりはさせていただいてると。はい、承知いたしました。えっとですね、今まで島元、
00:10:45	から申請させていただいた、それは、はい。
00:10:50	それをちょっと説明しないといけない。
00:10:55	まず、今まで原燃から定義させていただいた地盤モデルの考え方というのを、ご説明を差し上げということで最初は出発したわけですけど、理由、箇条書きにしてください。
00:11:11	観ようです。はい。で、本来ならば、我々が申請したものに対しての標準的なやり方の差分とかそういうところを整理してご説明すべきであったところ、
00:11:24	ただ、原燃の認識としてその標準的なものが何かということのピンどめがきちんとされないままの、説明を少し繰り返してしまったと。
00:11:34	というのが経緯があるというふうに考えてございます。そういうところを踏まえますと、最初に標準的なやり方というのをまず設定してから、はい。
00:11:44	もう、理由は進む、バツ、梅田それなんですよ。はい。
00:11:48	前年は標準。
00:11:50	的なモデルの設定がわからない。
00:11:55	菅
00:11:57	はい。知らないとはちょっと申し訳ないんですけどもきちんとご説明ができなかったということも、うん。
00:12:09	ヒアリングチームが、どうとらえた
00:12:25	だから別に、
00:12:32	それはだからその中小
00:12:44	日本原燃だけ。



00:12:50	それで今までいろいろ差異 4 因子あって、
00:12:58	面を全部
00:13:02	見直すというかね。一般的にそういう面を設定したらどうなるんだろう。はい。
00:13:11	新旧じゃないんだけどね。
00:13:13	耐震
00:13:20	いえ、例えばさ、これ、例えば言えばいいのかな。
00:13:24	ね。
00:13:26	はい。お願いいたします。
00:13:30	谷津。
00:13:32	9。
00:13:55	さらに
00:14:05	認可では、
00:14:07	範囲で何か
00:14:16	で、それ。
00:14:19	それで、
00:14:23	それが言えないと。
00:14:30	今言ったようなことをね、改めて見直して、
00:14:35	落としてるんじゃない
00:14:36	おっしゃると。
00:14:38	繰り入れないとさ。
00:14:45	1、
00:14:48	うん。
00:14:55	飛ばしました
00:14:56	今おっしゃっていただいているのが、今後資料化でき、することになるんで、はい。
00:15:03	そしたらですねまず 1、
00:15:07	目が、そのデータとして、
00:15:11	設計を行う際に、その地盤モデルの部設置を決める際、通常、その建物の規模及び許可の出た用いるべきところを、
00:15:28	その地盤全体といいますかそ、そのエリア全体で、平均化したような旧の申請のお考え方を引きずった形でのモデル設定していたと。
00:15:41	というのが一つございます。

00:15:49	なぜ、
00:15:51	そこに重要な
00:15:56	へ。
00:15:57	平均使ってもよかったかもしれないですね。
00:16:02	新しい、要するにね、新しいエリア。
00:16:05	今回、もう、
00:16:09	平均地盤が、はい。
00:16:11	平均データを平均して使えることの確認をせずについていう、そこが、
00:16:23	9人かの方法をそのまま使ったと。
00:16:32	どこ。
00:16:37	そういう
00:16:37	ですね。
00:16:39	どう。はい。
00:16:46	はい。これ全部言えないと、問題解決しないと思う。
00:16:50	そういうことで、
00:16:55	今おっしゃっていただき、ある意味補足いただいたんだとは思ってるんですけども、それを言えば、それ野元さん、千明理事、原燃の
00:17:08	ね。
00:17:09	ただ、
00:17:10	なんて誰でもいいのよ。私からでもちょっと右の方ですけどまず青赤の最新データを使っていないってことが一つ一番大きなところであるかなと。
00:17:20	思います。それから、建屋ごとの一般的な建屋ごとにすべきといったところを平均でやってるといふ大きなところもございます。それから、
00:17:30	何かおっしゃっていただいて、ちょっと新規で作ったところまで、平均まで広げると、資料作ったところは新規でやらなきゃいけないと、またその新規で作ったところもですね、2とA、E+Fの問題があって、
00:17:43	まだ他と違うことを、そこだけやっていると言ったところ、それから、減衰なんかはちょっとMOXと違うやり方を、MOXで1回1回とか僕ってあった。
00:17:53	1回と違うやり方でまた違う。
00:17:56	値を持ってきているといったところまた表層表層はちょっと、ボックスはないんですけども表層の考え方なんかも、少し、

00:18:05	ちょっともちろん平均もちろん議論せしないまま、平均を使っているといったところの違いがあるのかなと、その新旧で新旧というか、比較するとそのぐらいはある。
00:18:15	他のざっと。
00:18:16	はあるかなと。
00:18:20	物産。
00:18:22	その理由を飛ばしてやって、
00:18:27	こういうのさ、
00:18:29	やったことの分析なんだよね。うん。
00:18:33	その理由っていうのをばらしておかないと。
00:18:38	はい。
00:18:41	できない。
00:18:45	じゃないんですねはい。いやだから、
00:18:47	いうもうね、全部足し合わせて考えていくと、現年って何やったんだらうねっていうことが結構見えてくる。
00:19:00	その上で本施行金、
00:19:06	そこに悪さ加減だと。
00:19:10	それを大切するとですね、一般論に乗ったような、
00:19:15	ね、会話ができるモデルになるんじゃない
00:19:20	はい。
00:19:25	実際にやると。
00:19:40	整備。
00:19:42	確かに今、それが欠けて、
00:19:45	おりますね。それをすっ飛ばして、今建ってるところからちょっと話してしまったのは、むしろ、小池坪井等ができない。
00:19:56	だから周知してない。
00:19:58	トーセっていうふうに思っています。
00:20:03	心底から表示したつもりをしておってですね、今、
00:20:09	この資料、
00:20:12	何か今のあれ、これまでの最初の原点の考え方というのをまず並べて、それはどういう考え方であったのかねそれが、
00:20:22	どういうふうなちょっと悪さといいますか標準的な本当はずれがあったのかという分析も一応、1回、そのテーブルの上に出し、出した上で、

00:20:34	これを解決しようと思うと、やはり一旦リセットして、その標準的なやり方の設定をまずやっていくべきであるというところに至ったと。
00:20:46	いうところがわかると思いますかちゃんと文字化する形でお示しすることが必要なんだという理解をいたしました。
00:20:54	これが私の今承知いたしましたといったことも中身でございます。
00:21:07	標準的なものを知らないで、あるやり方でやり、
00:21:16	素行でいろいろ分析 Steering チーム
00:21:30	ある種、標準的な
00:21:33	それは、
00:21:38	ゼネコンとかは第三者的に
00:21:52	ビート点差っていうのは、はい。
00:21:57	僕は減免知らなかった。
00:22:00	最初に、
00:22:01	根井。
00:22:07	何か、
00:22:09	佐藤理由がそこ
00:22:15	でその中で、
00:22:17	そこの
00:22:19	それをその差分のかどうか、妥当でないかっていうのを、
00:22:25	技術的に説明できるかっていうことなんです。
00:22:30	ていうのをやろうとしたんじゃないの。
00:22:34	はい。
00:22:36	日本原燃決得でございますおっしゃったように、ちょっとこの、実はですね、もうちょっとね、
00:22:43	かみ砕いていうと、1例だけだね、さっき言った最初にね、平均地盤モデルを使いましたとね、それをね、ちゃんとした吟味だし、
00:22:54	だからそこは、
00:22:58	今回ね、ちょっと、
00:23:03	頭、括弧
00:23:17	本来じゃん。
00:23:20	ね、もう
00:23:31	示せば

00:23:37	だから、何しろ減免は、本技術的、科学的な根拠なしに、いろんなことやっちゃったということがね。
00:23:46	多分そこにほぼほぼほぼ尽きているのよ。
00:23:58	すごい簡単に言うと、はい。
00:24:01	一番わかりやすいなっていました。いろんなパターンがある。
00:24:09	ここが飲めない。
00:24:11	はい。吉井。
00:24:13	ちょっとよろしいですか。うん。関電の後藤でございます。私の認識がちょっと違っていたところがあったなというのを、今思ったんですけれども。
00:24:24	私が認識していたのは、先ほどおっしゃっていただいたような悪さがあったということを前提に、今、
00:24:34	標準的なやり方にはモデルをまっさらで作ってみても、一旦それをある意味、取るべきものとして、一旦設定してみると、今までのものはいろいろ悪さがあったんだからして、
00:24:49	その善し悪しというのを、一つ一つ言っていくような世界ではなくて、それはやってしまったけれどもこれで設計して良いのかどうかというのをジャッジしていくと。
00:25:02	いったような頭作る私してしまっておりました。ただ、今おっしゃっていただいたのが、あるべき姿を設定して、それぞれの因子に対して、これまでの申請の、
00:25:12	考え方がいいのか悪いのかというのを因子ごとに、やはり分析していくと、違うことをおっしゃっていない。ごめんなさい。横から入ってすいません。いえすいません我々の認識をもう一度確認させていただきますと、
00:25:28	我々のやった平均というのは本来、そこであるべき姿というか標準との差をちゃんと説明できればよかったんですけどそこを説明せずにやったことだけを説明してですね。
00:25:39	妥当性の説明が一切できてなかったと、その妥当性の説明をするためにはですね、一旦ゼロリセットで考えて、標準的な客観的なゼロベースで考えた。

00:25:49	地盤を1回考えて、そこからの差でもって、その割れを申請したやつが使えるのか使えないのかと、それを技術的に説明し切れるならば当然また使ってもいいでしょうし、積なれば、新しいモデルなんかを、
00:26:03	作っていかないけないということに繋がっていくんだと認識してます。
00:26:07	ですから、まず我々が申請してやっての3差をちゃんと明確にして表示的な高さを明確にして、それが我々のやつが、今のところバスでも0でもないものでございますので、
00:26:20	ちゃんとしたやり方、ちゃんとしたやり方ちょっと言い方標準的なやり方をやったところの差をちゃんと見て、技術的に説明し切れるかどうかといったところをやっていく、やっていくということをちゃんと、
00:26:32	ポジション哲学なきゃいけない話としては決得さんの方。
00:26:36	が、地下、
00:26:44	今回の資料はですねその反省を絶たずに、
00:26:48	どれ、とりあえずこの一般的客観的でやりますしか書いてないので、その前段階の、我々のその申請した中身の考え方を一切抜けてますので、そこの経緯とか、
00:26:59	それをパラスターやった結果、こういうのが出てきたんで、ちゃんとしなきゃいけないという時期に立っただったと言ったところから、
00:27:07	ここに入ってくると、そっから入ってくると、入ってきた後は少し、新規議論はれるかもしれません。そこで何か全くコストに抜けてるという認識でございます。
00:27:23	全員が同じこと言わないと、全員方の認識合わないと。
00:27:30	遠くにあろうともっとももっとも一緒にしがなく、この前段階がごっそり抜けてるはもう一緒に、その真ん中が抜けてるところは認識、おはようございます。
00:27:39	です。
00:27:41	すいませんすいません神戸の方でございます。
00:27:44	後の
00:27:45	今、もう嘘。個人的なもう印象で申し上げて申し訳ないけど今少し腹落ちしていないところがあるというのは、これまでの議論で、その原燃、
00:27:58	から提示しさをいただいたモデルというのが、ある意味技術的になかなか説明といいますか客観的な根拠に、

00:28:08	乏しいところがあるという議論がやっぱり香椎お話がさせていただいたところなんだとっていて、だからこそ、一旦忘れてやろうよねっていうのが出発点だというふうには思っております。
00:28:21	そこはだから違う違う、ごめんなさい、忘れてもいいが集めた方がいいよと言ってるのははい。衛藤。
00:28:30	なぜそういうことを言ったかってね、ここが、原燃のモデル作りで最も古くないところで、何か恣意的にやりたいことが常に頭の片隅にあって、
00:28:43	それを考慮してしまって、モデルに反映してしまっている。
00:28:50	いうのが常にある。その理由が一番最も次ね、これを改善しないといけない。だから一旦忘れてくださいという言い方をして、
00:29:01	本当に客観的な立場に立って、ノーマルにこのデータみたらどうするんですかっていうだから施設の特徴もねそういうことも考えずに、はい。
00:29:12	ね、一旦考えてみたらどうですかと。はい。
00:29:17	そういう形で、リユースそういう意味を忘れて、
00:29:24	ていうのも高いから、
00:29:26	農産物を完全にやってもらうと、我々申請後、完全に忘れてしまうから、
00:29:31	割と下から支えね、完全に忘れないんですけれども、各因子ごとに我々、今まで設定がよかったのかどうかというような打ち合わせということで、それだからね。
00:29:43	さっき言ったでしょ。はい。というモデルをもう今すでにありますね、作ったモデルがね。はい。という、Bというのをね、作ってくださいっていう。
00:29:54	作った方がいいですよ。うん。はい。
00:29:56	て言ってるんだよ、それがこれ。そこまでは。はい。
00:30:00	広井依田からの因子とどうのこうのって、全然そうですよね。はい。でも悪かったところはちゃんとなしで、
00:30:10	やって、だから、Aの悪かったところを直すと担保多分Bになるんだよ。はい。はい。
00:30:16	ちゃんとしたBっていうのをつくれた。
00:30:18	ユーザーとしては、すみません、フラットで、何も考えずに、どっかも第三者のやつを見てくださいねって言われ

00:30:30	中に十七、八人がこの
00:30:33	だよねってはい。
00:30:34	ていういうのをまず作っていく。
00:30:37	で、そこの差分っていうのが最後にですそれをちゃんとやりましょう。
00:30:43	だから、
00:30:48	原燃
00:30:49	標準で
00:30:51	施設
00:31:01	何が。
00:31:11	引き算ができないと。
00:31:15	BM 知ってればいいんだ。
00:31:18	ね。
00:31:20	あかんでのチャンスだから、
00:31:26	主、おのずと、との差がこうであったっていうのは対比すれば出る形なんだとは思うんですけども、
00:31:34	対比したときに、等も、我々、
00:31:39	やっぱりがいいよねっていうような議論を新たに始めるんでは、が使えるんだよねっていうことで、それは、この対比は因子ごとにやっぱり出されるもんのかなということを表で違いますから、そこはやっぱりいや別に仕事にも管理にはなるの。
00:31:59	はい。はい。になるけど、総合的に見るっていうのもあるし、結局、原燃はさ今申請したモデルの妥当性説明したいんじゃないのそうですね。そうですね。でも我々が、そもそももうねいろんな平均これでいいのかって言ったらね。
00:32:16	説明できないし、減衰もこれでいいのかっていうね。なんでこんな減衰なんですかって言っても説明できないし、一応、もう何しろ説明できないからさ。はい。
00:32:27	だから、原燃はある意味ね、施設の特徴を踏まえてイレギュラーができたわけですよ、モデルと。
00:32:40	イレギュラーな。
00:32:56	そこははい、深く腹に落ちているところになってまして。
00:33:02	だから、あとは、はい。だから、
00:33:05	前回



00:33:07	1種類やり方がありま
00:33:09	は、
00:33:34	減
00:33:39	をせざるをえないんじゃないんです
00:33:42	1回便を作ってみないと、いうところだったんじゃない。
00:33:49	三ケ日を作っ
00:33:50	てみた後の、
00:33:52	話をしてるんでしょ。そうですね。だから
00:33:55	引き出したら、
00:33:57	違いが出てくるでしょう。Bを比較したらさ、ね違いが出てくるじゃないですか。で、今は、私が今ずれてるところは、その比較したらっていうのは何を比較したらと思っているかということ、
00:34:10	Bでの設定の考え方とAの設定を考え方をもう、この時、とやかく言い始める話ではなくて、Bの、
00:34:20	今までの仕上がりとしての地震動なり、入力と、
00:34:26	Aの入力を裏付けが工学的なのかっていう話を始めるのかなと思っておりますが、結果論では3波の形見たってさ、ねしょうがないじゃないですか。
00:34:37	はい。はい。だから結局パラメーター
00:34:40	アセットを、考え方を
00:34:43	元のイレギュラーなものイレギュラーとしてね、妥当なのかどうか施設の特徴を踏まえれば平均してもいいかもしれないし、うん。
00:34:53	というね、よく見たら100校ねデータあるんだけどそのうち50個しか使わなくても、変わらないからいいかとかですね。
00:35:01	そういうこともできるかもしれないって言うだけ。
00:35:06	だからそれぞれの設定の地盤モデルの設定を考え方において原燃の今までのモデルが使えるところ使えないところというのが、明らかにすることができると。
00:35:16	言えへんねん。だって恣意性モデルの妥当性を説明したらいいんじゃないと思う。そう。
00:35:24	僕的にはそこを諦めたのだったら新しくモデル作ってもらって、我々は申請した評価をできるだけ有効に使いたい。いや、ちょっと埋まってない。そこは再審査としておかしくなっちゃうよ。うん。

00:35:37	ね、原燃は申請したんだからねそのモデルがいかに妥当であるかっていうのを説明する責任があるわけですよ。今はそうですねはい。はい。だから原燃は、その説明責任をちゃんと果たしてくださいねって言うだけが出発点ですね、やり方を。
00:35:54	ね。
00:35:56	言うだけなのね。
00:35:58	はい。はい。原燃がもう自分たちの作ったモデル、妥当じゃないと思ってるんだったら、
00:36:05	話やり方しなくてもいいよ。
00:36:08	それこそ前チャラにして、はい、申請し直してねっていう、
00:36:13	沼尾さんに仕事に設定変えると言ったら出ちゃう話だろう。
00:36:17	違う。
00:36:20	でもねやった結果としてあるものはいいかもしれないけどあるものは駄目。金足れないっていうのは当然のことを結果としてはある。
00:36:29	だから今はね。元のモデルがいいかどうか分からない。
00:36:34	言うだけ。はい。
00:36:38	何か普通のことやろうとしてるんだけどそんな難しいこの、
00:36:42	古作ですけど、物の水2先の話するのもやめません。うん。
00:36:49	どれだけの影響があるのかもわかんない。いい悪いをどっち側の向きで話しましょうかなんていったっていうふうでしかないじゃないですか。
00:36:57	うん。
00:36:58	うん。
00:36:59	だからまず一旦、標準って何なのかっていう認識を共有することだけに主査集中しましょう。はい、そうですねはい。
00:37:06	どうぞ。これ変に書けます。
00:37:10	そうっすねもっと年。
00:37:15	ずらすと、もうね、元のやつモデルを本当に忘れても、さっき俺そんな話やめたところとか言ったけれども、それかけそういうかけな値に、
00:37:25	江藤原燃が今データさらして、それがどっかよその会社のデータだとしようと。これみんなでね、どうやってモデル作る。
00:37:36	で、
00:37:37	いう、もうそれでいいよ。

00:37:40	ちょっと変に今、柿本でも議論をするんじゃないかなと思う。ここは原燃が持ってるデータをね、とりあえずでね、大林でもいいから大林新居君これで、
00:37:55	ええとね、ビル建ててくださいって。
00:37:58	したらいいんだよ。
00:38:03	規制庁萩野
00:38:04	の
00:38:05	先のことはない。
00:38:08	それは所、当然な
00:38:09	設計あっての地盤も当然なんですけども、前、全体の
00:38:14	枠組みからじゃ打ち合わせ始めますかっていう。
00:38:17	もう、はい。はい。それを全然、
00:38:20	地盤もできてない。それは、
00:38:22	はい。
00:38:23	まずは地盤のところに統括しましょうと。はい。はい。その上で、後のことは後で頭の隅にあっても後、
00:38:31	地盤モデルのことも
00:38:34	ね。はい。で、先ほど会館学会は、
00:38:36	稲葉さん。
00:38:37	全部
00:38:38	これもしかすると原画 CT、
00:38:41	要はですね、もともとたどればいいわけです。
00:38:46	建設時に、平均地盤でやってましたよと。で、その調査項目に少なかった。
00:38:51	で、それも、1、
00:38:54	調べてやってた。
00:38:56	それはその当時はよかったんですよね。うん。でもそれから、Ssが大きくなりました。大きくなることによって、岩盤なり地盤の非線形の問題、
00:39:05	埋め込みを考慮するようになりました。そうしたら、右だけじゃなくなってきましたと、それから PS 検層の数が増えました。
00:39:14	もともとからいろんなものが変わってきている。その上で、やり方がもともとのおしゃれなものであって、普通のやり方普通の建築の

00:39:23	直下、或いは周辺の地盤で地盤モデルっていうのを考えるというのは普通のやり方ですね。
00:39:29	それを、それぞれの新しい情報、本来の姿を、
00:39:34	今の
00:39:35	データを基づいてすべて使ってですね、総務は提案していた申請モデルっていうのが、そのいろんな条件の変化に
00:39:46	また頭打ってください。その適用できるとかっていう、
00:39:49	そこを、
00:39:50	示してくださいねって言うてるんです。
00:39:53	そういうのが、もともとパラの分析、
00:39:57	申請モデルはこういうふうに設定したというふうにさっき言いましたけど、そういう条件がどういうふうに変化してきたのか、今の段階では、
00:40:06	その上で、
00:40:08	新しいモデルが本当に必要な、やっぱ必要なら、どういうところが違うのか、っていうことでこの4要因ってのはまず、まさにさっき言ったPM、Ssの変化だとか、そういったところが出てくるわけです。
00:40:19	義務づけられるわけなんで、
00:40:21	そういう流れをもとに、検討モデルを、まず地盤モデルも、妥当なものっていうものを考えて、
00:40:30	いきましょうというところですよ。
00:40:33	この話って、原燃自体が説明してるからね。
00:40:40	最初にね、だから4演習をやりましていうふうになってきたわけだ。
00:40:48	だから、ずっと我々は連続した話の中から、
00:40:53	はい。はい。
00:40:54	難しいアップと考えられなくていいな。多分、
00:40:59	そこにもう申請モデルの悪さって書いてるけども、悪さがどうかは十分やってくれと言え規制庁さんも別に我々の申請モデルばつとやって言うてないんで、
00:41:09	こういう考えでやったちゅうレベルの部分イレギュラーな部分があるとそれをイレギュラーがええか悪いかはまだわかってなくてですね、一般的な客観的なやり方と比較しながらそこがちゃんと明らかになっていて、

00:41:22	最後の信とかいう一番最後心配してる結果からこれを導き出してもいい。
00:41:31	ちょっと下から、我々もわかりました。小坂です。一応
00:41:39	基本、
00:41:40	先ほど管理官が話したことではあるんですけど、
00:41:45	ものがよかったか悪かったかは、まだ資料付けてないんだけど、根本的に悪かったのは、原燃が説明してない。
00:41:55	変化に応じたやつを、
00:41:57	その説明をさんざん求めたのにできてなかったっていうのを我々の分析結果からすると、もともと原燃がちゃんと認識をしなかったという、
00:42:08	そういう検討をせずに、
00:42:11	何ての9。
00:42:13	熱球、施工人のやり方をそのままやっちゃったっていう、
00:42:21	ところが、いわゆるすごいざっくり。
00:42:24	やってしまったのでそれから、根拠の根拠データを示せないという
00:42:31	だけの、
00:42:32	ちょっとは反論ではないんですけども、そこ、それを、それでも円だよということばかり言ってですね、その3のところ1個も言ってないんですねそこでもいいんだ、科学的技術的なね、ちゃんとエビデンスを示してくれ。
00:42:47	言えればいいんだけど、それをずっと半年から示せてないわけじゃ実は、このペーパーの1個前に、もっと前、我々の反省中で、今作ってますから、審査会合ですね。
00:42:57	やはりそこは、設計ありきでやったことの説明に、
00:43:01	に周知していたと。
00:43:03	いうためところに、認識に至ったという反省をちゃんと述べて、ゼロベースにとか、客観的とか標準的なやり方で、
00:43:13	その考えに至ったと、設計に至った考えからちゃんと説明できるようにしないと審査が進まないというところに気が付いたと。そっからやり直したいというのがまず表であって、
00:43:23	この話に繋がっていくと思ってます。古作です。で、文言としては合ってるんですよ、なんですけど。

00:43:31	その考えに立ち返りますと言った時に、原電の館変えるのは、平均でやりますという考えですっていう。
00:43:38	ところでしか戻らなくて、だからそれ考えてなくて、考えが正しいことの根拠を示せという考えない。うん。
00:43:48	全部考えはもうねさんざん聞いているからね。桃井いらないますよ。補足です。その根拠を示すというのは、標準的な考え、設計のプロセスであって、
00:43:59	日々、
00:44:01	施工の流れというのがあったらおのずと出てくるでしょって我々思っているんで、標準的手法を踏まえて話をしてくださいと。
00:44:10	申し上げた
00:44:12	ちょっとまた、見分ける訳ですちょっとイメージで私 1000 万、
00:44:17	次回の審査会合の話で申し訳ないですけども、一般それた全体の反省がちゃんとあって、地盤に来たときには、ちゃんと経緯から、
00:44:26	我々の考え、こうやったで、それから今言った変化が当然あったんの、かわらなく、そこを入れてなかった、反省なのかちょっと、丸さんなのか、ちょっと表現は難しいところですけど、ちょっとすみません、挟んでしまって申し訳ないんですけど。
00:44:42	今言われたときの、先ほどの幅先が言った Ss になり、自然権も問題になってき得る。
00:44:53	状況だし、うん、というようなことでいろいろな意思を、本当にいいのかっていうことを考えなおさなきゃいけないだろうと、我々は普通に思っているわけですよ。
00:45:05	先行例でも検討はしないと。
00:45:07	ということなのに、原燃がそこをなぜそのまま平均でいいんだと思ったのか。
00:45:15	なぜそこを言われたときに説明ができなかったのか、っていうのは何だ。
00:45:25	はい。
00:45:25	いや、何も認識しなかったんでしょっていうふうにあっさり言ってくればそれは考えましょうねって終わるんですけど。
00:45:32	そういうことでいいですか。
00:45:34	まずは私、

00:45:38	やってやってしまっているので、
00:45:41	すでにもう評価をやってしまっているのですそれを正しいという説明に周知する。
00:45:47	身近にの考えしかなくて、
00:45:50	プラス
00:45:52	まず、設工認に入って説明のスタンスがそういうふうになってしまったってというのはそういうことなんだろうな。6年前に、
00:46:01	困った計算をする前にさかのぼった話をしてくれてるんだよ。はい。
00:46:07	だから多分、五、六年前。もっと七、八年前か10年ぐらい前かもしれないんだよね。
00:46:12	戻ったら、
00:46:15	収めいやだからその10年前なり2、基準地震動を変えなきゃいけないと。
00:46:22	いう議論がスタートしたと。
00:46:25	その時に、どれぐらいの影響があるのかと。
00:46:28	いうことを当然考えるでしょうというときに、なぜ平均じゃなくしなきゃいけないんじゃないかと。
00:46:36	いうことの検討をしてなかったのかと思ってしまうわけですよ。
00:46:40	あれ、私が多くてですけど、でも聞いたのはやはりその先行の、
00:46:46	既認可日認可を踏襲ってのはものすごいその意識がものすごく強く強過ぎた。
00:46:51	やっぱ金貨しか認められないという、何かああいう意識が強過ぎたっていうのが、書きたいと思いますけども、それが一番の内堀です。
00:47:01	その際に日本原燃の間瀬ですけどその際にご説明する際にはそのバックデータをどんだけちゃんと整理したかの説明につきまして、正直今課題になっているような、じゃあ、今何を変えるべきなのかみたいのところまで正直いかなかったというのが、はい。
00:47:14	はい。
00:47:15	というところだと今は認識しています。はい。
00:47:21	だから何も考えてない。
00:47:25	飯野委員のよっていうかで、

00:47:31	実態をちゃんと見認めてそこからスタートするっていうのは大事っていう意味が、今の管理課でいいよっていうことだと思うんですけど、
00:47:41	まず、正直に言っていただきたいと思うのは、それはある意味、僕らの僕らのというかこれまでの規制機関の審査の仕方といったところに、前例踏襲があり、
00:47:53	それでないと認めてもらえないと、暗に思わせてしまった。
00:47:58	こともあるのかなという気もするので、そこは我々はすぐ、今は、
00:48:05	大分感じているところが三角ておられるように、そんなことは全くなくて、適切なものにしない限りは前例踏襲では逆に駄目だと。
00:48:16	いうことはおわかりいただけると思うんですけど、そのあたりをしっかりと伝えていくっていうのも僕らの責務なのかなと思いますし、その点では
00:48:26	数ヶ月前のヒアリングでも申し上げましたけど、
00:48:29	令和2年のペーパーのときに、既認可は既認可としてというふうにしてしまったのも、誤解を与える人だったかなとも思うので、その点は、本件であればその前からもう、
00:48:40	基準地震動を作られて、
00:48:42	関係ないんですけど、
00:48:46	今回ちゃんとリセット
00:48:48	をして人、考え方という意味でのリセット
00:48:52	というのをしっかりして臨んでいただくというのが大事かな。
00:49:00	規制庁浜崎ですすみません、ちょっと中身を一番までの間の話に入ると思うんですけど、今までの話を聞いてて我々教授的な建物の地盤モデルの説明をするにあたってはということ。
00:49:13	を念頭に置きますね。
00:49:16	宇野さんとか和田さんは、
00:49:18	どう思われます。
00:49:20	建築の地盤モデルって、我々が思ってる考えて、何か違ってますか。
00:49:27	合わせて、当然設計の宇野でございますが、
00:49:31	すいません、ちょっと土木的観点っていうなっちゃうかもしれないんですけども、
00:49:35	梅本紫藤の話でよろしいですかね。
00:49:37	地盤浅部地盤基盤まで地盤モデルの話につきましては、もう、



00:49:42	一番最初にもう
00:49:46	当該地点っていうのも本当に三つ、
00:49:57	データがプラスされてもですね。
00:50:16	大林箕輪ですけども、私も同じ意見で、当初、建設予定地があって、その予定地のところでサンプリングをとって、それでその時はそれでいいと。
00:50:28	でも、エリアが広がったらまた違いますし、離れていけば違いますし、その点では、深瀬さんと同じ意見。
00:50:37	はい。以上です。
00:50:40	できんだろう。もちろん、間違ってると。
00:50:44	思い違いしてることもあると思って、そのときは、適切な
00:50:48	話をしています。
00:50:53	すいません。
00:50:56	特に、
00:51:03	よろしいですか。規制庁浜崎です。
00:51:05	まず、
00:51:06	昨日、提出資料について、
00:51:09	一応我々としてるんですけども、何か
00:51:14	追加で説明されることは、
00:51:18	はい。今の田村高津の議論はまだ承知いたしたいと思いますけど補足で説明することがございました。はい。はい。はい。柴崎です。
00:51:27	今日のこの着でかなりこの中身っていいですか、状況もパックですので、
00:51:35	スケジュールとはまた後程、
00:51:39	修正されると。
00:51:43	と。
00:51:44	実際の話はね。
00:51:48	違うわけです。
00:51:50	躊躇があったら、昨日のこの資料について、
00:51:55	コメント、
00:51:57	等ありましたら、お願いしてですね。
00:52:05	尾崎です。この資料というよりは、

00:52:13	どう、資料として全体としてどうしていかっていうところがいまいちよくわかんなくて、
00:52:19	先ほど決得さんの方から審査会合ではこの前に、反省例の点を明確にしてというような話もあって、1日には会合の骨子、
00:52:31	介護資料での骨子ってということで、大きく3点に分けて、全体的なその反省会3つというのと、地盤モデルでの本系、
00:52:41	話を、
00:52:42	とそのあとのシステム。
00:52:45	いうことになってるんですけど、決得さん言われたその最初の配置を詰めて意味なんですかね。A41枚2枚言われるもんですけども、
00:52:55	Steeringを作ってる。
00:52:59	除雪設計ありきの説明にしか、
00:53:02	なってなかったと、いった反省をもって、今みたいな客観的とか一般的とかいうような観点でちゃんと説明席を果たしていかなきゃいけないというんで今後そうやっていきたいと。
00:53:13	今、
00:53:14	長谷っというか決意表明というか、いうようなペーパーを1枚入れてちゃんと説明させていただきたいと思います。その上で、この地盤のモデルが、
00:53:22	で、ここは原因が完全に抜けてるので、そこは追加したいというふうに考えてます。
00:53:27	はい、顧客です。その時に、大きく議題として分けるわけではないものの、ポツで三つ分けたものの一つ目に言うんだとすると、
00:53:38	話が途切れて地盤モデルって言っちゃうとやっぱりまたわけがわからなくなるので、はい。うん。
00:53:48	地盤モデルとしての知り、説明としての初めに、
00:53:52	今日の資料があるのであれば、ちゃんと繋がるように、経費とかには書くと言われてますので、その中でその前段で、ほぼ全体としての、
00:54:03	改善点というようなことが、本件であれば何だと思うかと。はい。
00:54:09	いうことは明確にしてつなげていただきたいなというふうに思い
00:54:16	日本語抜けてます。
00:54:18	了解いたしました。
00:54:27	施設は同じです。日付の資料について、

00:54:33	わかりました。
00:54:36	規制庁。
00:54:39	最終形。
00:54:41	途中ちょっとあれなんで、
00:54:42	最終形としてその次の、
00:54:45	審査会合で、
00:54:47	前年が考えて標準的なモデル。
00:54:52	絵姿を、は、
00:54:57	念のためだけです。次の会合というのは6月の海区9月の、
00:55:02	要するに、
00:55:05	申し、
00:55:08	そう。
00:55:09	何メートル。
00:55:10	この一つ一つのデータパラメーターが、
00:55:14	こういうので、
00:55:18	そういう見て、これで解析する。
00:55:24	最終形として、
00:55:26	出す予定ですか、それともその前の考え方。
00:55:35	正直なところ申しまして、出したいという気持ちは非常にあるんですけども、今日のこれからする議論と、下水の議論、ここが少し議論があって、後の、
00:55:49	一番最初の岩盤の物性なんかも直下使うということで、そうあんまり議論もないのかなと思うんです。
00:55:54	減衰と表層のところは少し、
00:55:58	議論が必要な部分で、そこが大変うまく意見の勝ちじゃないですけども、生きるのか、そこまでちゃんと議論がお互い借り合うのかどうかと。
00:56:07	いったところが、その議論を、次回の
00:56:13	古作です。今彼が言っているのは、何らかの方針を原燃が示さない限りは議論は我々できないので、その次に進むステップとしての会合になりませんよということ。
00:56:27	なのです。

00:56:28	で、そのときに、前々から申し上げてますけど、あの会合っていうのは、結果発表会ではなく、審査、議論の場なので、
00:56:39	それまでの見通しが立ってないから書けませんということではないはずなのでですね。
00:56:45	なので、方針を示していただく分には別に一向に構わなくて、ヒアリングでエビデンスが示しきれてなくても、原燃としてジャッジをしているのであれば言うていただいて、
00:56:58	まだヒアリングとしての資料提示もないのもう少しいかなはコメントにはなるとは思いますけど、少なくとも議論ができる
00:57:05	そういう意味では、ぜひやりたいなと。
00:57:10	朝出るものですね。
00:57:13	ただ、
00:57:15	荒の前者後者かというので言えば、後者の方針示すところにあるんだと思っていて、地盤モデルの最終形が、我々こうであるということスリーをもとに、
00:57:28	お示しするというのは次回は、やっぱりまだしんどいんだと思ってますって言いますのは、減衰に関しては、以前のヒアリングをもとに、データの整理をしておりますけれども、古作です。ごめんなさい。
00:57:43	ちょっと先の話をといた言葉で若干先の話と言わないと、ずれてきてるなっていう気もするのであれですけど、
00:57:51	とりあえず、
00:57:55	私が先ほど申し上げたように、まずは標準的なやつ認識を合わせましょうということからすると、
00:58:02	現状の資料の Step2-1 で言っている設定は、
00:58:07	緩んだよねということのレベルで今話をしてるんだと私は思ってますんで、澤外崎の 2-2 の話をして最終的な 2-1 の話を言ったような気がする。
00:58:21	申し上げてますってことです。2-1 も出さないということ。
00:58:26	あと前回ヒアリングで出すって言うことであってはずなので、またずれたなと思うんですけど、ですすいません。
00:58:35	ヒアリングで十分なデータを出してないのに出したらは、いけないという、そういうリミッタあの考えがあって、少し私が今言ったことをお話ししましたけども、議論の場であると。

00:58:46	当然田島岩審査の会合で来た何かデータを出してくれというやりとりがあるんだというのであれば、我々の考えというのを示したいというのが、今の現在の考えです。ですから、それにまだ十分のデータを見てないのに、何言ってんだよというような話にならないのであれば、
00:59:02	我々はこう考えてますと言ったところは、お示しして、逆にその場で議論して田島のデータなんかをまたヒアリングで確認していただくというステップかなと思いますので、出さないと次のステップ、要は議論にも進まないと。
00:59:16	いう認識ですけども我々の考えを出していきたいと。
00:59:19	いやだから、元の何しろ、規制庁の長谷川ですけども、何しろ基盤の最終形は、
00:59:27	これだから一般的に考えたらちょっと出てくるものだからもう多分出せるはずなんですよ。
00:59:32	AはAのはこう考えてますので出したいと思うんですサポーターす、データセットがこうしますって言ったところの、これはどういう考えですかこれをですねそれはそうだよねそうだよねって。
00:59:43	ここがあって云々とかってねそういう議論はできるんですよねっています。はい。
00:59:50	ことなんだ。それを最終的に我々も含めてコミットするかどうかはできるかどうかは別だけれども、
00:59:57	それはしないと多分切るんだなあ。次、次、そうするとさっきね資料どうですかって言われたからって言ったんだけど、資料はこういう、
01:00:06	下立入が一部こうなのかもしれないけど、この地盤モデルを出してもらわないと駄目なんで、
01:00:14	はい。そういう意味では最後我々の、これ地盤モデルじゃないからさ。そうですね。これは地盤モデルとは言えない、なくて地盤モデルはだから、ちゃんとさ、モデルの。
01:00:27	ね。書いてね、押してる加工課。
01:00:32	なんか、
01:00:44	といいのよ。はい。
01:00:49	で、ここのそれぞれの構成はこういうふうに考えます。
01:00:54	ね、非線形性はこうです。
01:00:58	それぞれでここの

01:01:00	のね、モデルは、
01:01:02	考えますとそれぞれそこに考え方がついてるのはいいの。
01:01:07	そこは調整と、
01:01:12	石井のこれ。
01:01:14	うわ、12倍、10、
01:01:22	だからもちろん、12号全部出せっていうよりも、1個でもこれはいい、いいですか。
01:01:29	ね。でもね、いた同文ベースなのかちょっとイレギュラーがあれば、違う、何枚か出すかもしれないけど、
01:01:35	標準なんだから、ほぼ入れないのよ。
01:01:39	当然設計のものでございますが、
01:01:53	ただ、Bから、B、BはBだからね、設計僕が言ったBモデルだから、
01:02:01	12個。
01:02:04	今ね、
01:02:05	12個で12枚これ出さなくて、
01:02:09	次いいですよと。
01:02:10	ね。大丈夫。基本的に一緒だから、代表的な部分でもそういう、
01:02:15	いませんよと。
01:02:16	図総会後にちゃんと考え方を光がやっても、
01:02:21	だって、
01:02:23	うん。考えてあるんじゃないんですか。
01:02:28	考え方
01:02:29	の代表1個示した他のやつはいいかと思う。
01:02:34	なんで差分はない。
01:02:39	そうですね標準的な考えだから、基本差分はないんだよ。
01:02:45	ボーリングデータが10、
01:02:47	2個しかないと。
01:02:52	当然、すいません。そその時点においては、
01:02:56	ディスカッションがあって今後議論ですねってことは十分あり得るということ。
01:03:01	当然ながら、小田さん探してもらわないと、わかんないからさ。
01:03:06	でもね、一般的にね、10人の専門家の七、八人が、これこんな感じだよねっていうところに落ち着くはずなので、それほど議論はないと思う。

01:03:19	ただどっちかわかんないねって言った時にはそれは両方やった方がいいんじゃないってことにはなり得るかもしれないよね。
01:03:31	それ最終的に見たときにいろいろな比較をする上で、これやっという方が多分いいよねっていうのは、どうしても出ちゃう。
01:03:41	だから、結局そこにいるんです。だからそういう意味では、減衰のとり方は、
01:03:46	こうした方がいいんだとか、とりあえず置いとこうかっていうのはあるよね、これで置いとこうかっていうのは、
01:03:53	ある。
01:03:54	そそういう意味のコミットはできるんだよね。はい。それで善し悪しじゃないから今回の場合ね。
01:03:59	何しろこの標準的なものを1個作ってやりましょうだからその標準的なものが正しい正しくないっていう話ではないからね。
01:04:10	目安となるモデルを作るところだから、
01:04:14	はい。
01:04:16	でもできるでしょう。
01:04:18	もうできてる、できてないと人ができてます。ただ、
01:04:22	同じ形のものでございますけども、すいません競争だとかっていうとこれからお話しなきゃいけないんで、どっち議論はもちろん、
01:04:34	要は、
01:04:37	審査会合から手を握ってるわけじゃないんで、議論が頭である。
01:04:42	だから、いかがですか。重ねるのでございます。ちょっと、
01:04:47	ですかこちらの状況申し上げますと、今伺っていたのはサンプルということで、お示しすることは、可能なんだというふうに思います。で、なんでこんなこと言ってるかと。
01:04:59	ということなんですけれども、以前に、さっきちょっと言いましたけども、減衰の検討を、今まだINGの状態でございますんで、おそらくですね当審査会のとしまでに、すべてのエリアの
01:05:13	減衰の形の検討結果というのは多分そろわないから、きちんとしたものは中央地盤では、当然のものでございますけども中央市場で出せますが今の
01:05:24	西東の方は、もう1回
01:05:28	解析をしてるところで、
01:05:30	ございますんで、

01:05:34	なので、だから、その分、はい。
01:05:38	何を説明してるか、説明したいのかがちょっと理解でき、
01:05:43	端的に申し上げますと、中央地盤エリアでの一つのエリアでのその地盤モデルが、大体そういう形でございます。ちょっとすいません。日本原電でちょっと、
01:05:57	どこまで出せるか、もう一度内部でそこがあるので、調整して木幡です。
01:06:07	今の野本が言いたかったのは減衰の値が中央間違いなく出るんですけど西と東がちゃんとチェックして全部、日本原燃として自信を持って一般的なさ作っちゃうやつだからさ、そんなになんと私も思うんでそこちょっと時間。
01:06:23	いや直接的にフラットで何%突っ込みますっていうやり方だったら別に考える話だよ。あんまりね考えて。
01:06:33	地震に関する
01:06:34	データ
01:06:48	がそれを
01:06:55	三つ。
01:06:55	層ごとに突っ込みますっていう
01:06:59	は、
01:07:02	そのやり方さえ込み
01:07:08	規制庁赤木です今参与。
01:07:13	中央の1、
01:07:18	はい。そうですね。
01:07:21	それは、今、10時グループ、同1同によってでも、
01:07:26	日中に協力出していた。
01:07:28	決まってない場面
01:07:31	例えば
01:07:34	なり、
01:07:35	という、今の検討中だ。
01:07:38	扱いにしてもらってもいい
01:07:40	それはやりようがあると。はい。
01:07:44	そこは構わない。
01:07:52	今、



01:07:53	野本さんが、
01:07:55	次に、大きな
01:08:05	それでどうする。
01:08:23	て、
01:08:26	そういうそこをそういう、
01:08:27	スケジュールか。
01:08:32	これだけついてないんだ。
01:08:36	次の話としてね。
01:08:39	要するに、まず、ここで基本地盤モデルを作ってやります。そこの議論を、はさしてくださいということで、6月にしますと。はい。
01:08:51	7月行っちゃいますね。一応終わったとすると、ただしね、
01:08:56	それを考えられて、
01:08:59	しないと。
01:09:02	でやりますとそれ7月でした8月です。
01:09:05	それでできたもんから後並行的にやってっただとしても、ベックが
01:09:12	-を引いて、
01:09:17	地震動なんかを見て
01:09:20	そこを急いでるのは我々側ですので、だからそういうのがきっちり作りたいと。
01:09:26	こういうことがわかってくると、スケジュールとしては、民営化スケジュールがざっくりではあるものの、概ね月単位ではして、
01:09:35	このぐらいの見通しですと。
01:09:48	におけるですおっしゃる通り、6月の審査会合で当然これ、我々の考えを述べて窓等で議論も出てくる、論点も出てくる。
01:09:57	いたところで炉、これの確定が6月でやって7月ぐらいねそれと、
01:10:03	ここにはないもんで、次のできた、これは基準、基準地盤と呼んでますけど、基準地盤と、我々申請地盤のサブ差分の話がいいので、もう少し先になるという、
01:10:18	うん、差分の話のスケジュールを引けとは言ってない。
01:10:22	まず、標準これ作ってって早急に作られたって、我々はそう思ってるんで早急だから、ちゃんとすね。
01:10:34	線引き、ある程度の線引きはできるでしょう、いただけたらそれもちゃんと付け加えてくださいねっていう。

01:10:43	古作ですちょっと蛇足的にはなりますけど、原燃のこれまでの問題点の、
01:10:49	我々から言ってる大きなものの一つに、計画性のなさは、
01:10:53	というのがあって、社長にも申し上げた通りちゃんと積み上げて、はい。実態に即した計画にしないと意味ないですよ。
01:11:02	いうことを申し上げたの。
01:11:04	なぜできないのかの原因は、必要なことの項目なり作業レベル。
01:11:10	を認識してないこと。
01:11:11	なんですね。
01:11:13	で、
01:11:15	大体過小評価であって、
01:11:17	やれることをやってきました。
01:11:19	だけどこちらの求めているのは他の場所にありました。
01:11:23	全然足りません。
01:11:25	追加作業が発生してというのが、何度も
01:11:28	される。
01:11:29	いうことで、そういう何か
01:11:31	されるという事実関係から、自分たちでは、何が必要かわからず、
01:11:37	必要な期間は、
01:11:38	見積もりませんになって、
01:11:40	的な作業に入って、
01:11:43	てというのがこれまでの
01:11:45	流れと、
01:11:47	それを、今管理官が言われたように、
01:11:50	入口として何をやるべきか標準的なものとしての意識は何かと。
01:11:54	いうことを認識をすれば、
01:11:57	やるべきことが明確になり、こちらとも認識共有ができ、
01:12:01	作業量も割り出せるようになるので、
01:12:05	積み上げができる。
01:12:07	ということになるというので、Steering チームは、そういうことをしっかりとやる。
01:12:12	作業をリードしていく。

01:12:15	いうことのために作られたはずで、それをちゃんと着手してくださいっていう
01:12:27	だから資料イメージでいいか。
01:12:37	これで会話した方がいい。
01:12:44	別にゴウセイだとかって別にね、もうあんまりいろんなことでしょ。
01:12:50	結局、
01:12:51	次は減衰だなんだってあるけれども、
01:12:55	まず標準的なやつは、要は引き算の、
01:13:00	うん。
01:13:01	片方作ってるだけだから、結局、
01:13:04	その中で足りなければ、追加的にやらないといけないなということですよ。それをあらかじめ、やっとかどうかだけの問題だと思いますよ。
01:13:15	減衰をフラットで3%。
01:13:33	ね。
01:13:41	ていうだけの議論でしかない。
01:13:47	もともと大きな論点になりそうな、
01:13:53	新しいものを決められるんだったらね、誰も困らない。
01:13:57	だから
01:14:26	ということになると思います。細かいところはやってもらって、
01:14:31	うん。
01:14:33	早いうちもコミットした方がね。
01:14:36	うん。連れてっちゃうからね。
01:14:38	40番は、はい。
01:14:44	よろしいですか。はい。はい、規制庁です。そしたら
01:14:47	東京表層地盤
01:14:51	で、昨日付と教授ですね、こういう数字が、
01:14:59	近づくと、その月2日早々と20日終わりました。
01:15:05	失礼しました。そういった方です。
01:15:07	スタッフと協議の資料について、
01:15:13	これ、まず、
01:15:14	県の方から、1日、説明することがあったら、これちょっと関西電力の でございます。本日形でご締結いたしました資料につきましてこれちょ っと今お持ちしたものでございますので、

01:15:27	少し簡単にご説明差し上げたいと思います。冒頭に申しあげましたようにこの資料は、2日付の資料の前段に入るべき位置付けのものとして、少し我々がその秋月を表現しきれてないところがあるのでそれを、
01:15:42	表現したものでございます。
01:15:43	で、この章構成でございますけれども、まず建築物を一般的に建てる場合におけるその銀行表層地盤物性設定の一般的な考え方というのをまず、
01:15:55	記載してございます。そのうちに、原燃60サイトへの、この一般的な考え方の適用がどういう考え方になるかということを整理したというのがこのペーパーでございます。
01:16:06	まず建築物における銀行表層地盤物性設定の一般的な考え方でございますけれども、建物の入力地震動を決めるに当たりまして金庫表層地盤の物性器といいますのは、
01:16:18	当該地盤についてのボーリングでのデータで設定するのが一般的な考え方、これははい。
01:16:26	古作です。読み上げられないです。もう見ましたので、全然わかってないなっていう気がしているので、河崎さんからいただいて、
01:16:37	はい。
01:16:40	これ、
01:16:42	と競争、2日付の資料の前段階の資料という。
01:16:47	それがあったんですけども、
01:16:51	ねえ。
01:16:56	そもそも二つ目の資料の1で、位置付けも、
01:17:00	私自身はちょっと混乱しちゃってます。要は、今まで、その前に話してるか、地盤モデルの設定という流れの中で、この表層地盤の足をどう位置付け、
01:17:12	というのがはっきりわかる。
01:17:15	中で今日の資料、
01:17:17	今拝見したんですけども、
01:17:22	要は、2日の資料と6日の資料って、
01:17:24	これ、
01:17:26	流れるんですか。古作です。ちょっと資料の最後に、この後、6月2日付資料の中に入れ込みますと、

01:17:35	言っているので、はい。
01:17:38	つか資料の一番最初に、その前提という考え方ということで、標準とは何ぞやということ認識した上で作業を開始。
01:17:49	ここの要因として、堺市するということでちゃんと整理をしますということは、
01:17:55	方向性として私の思っていたところではあるので、それは私はいいです。
01:18:02	ですが、
01:18:03	まず入口がさっきの話からすると、
01:18:09	SS。
01:18:11	に、何。うん。
01:18:13	埋め込みというのを考えるようになると。
01:18:16	いようなところで、なぜこれを考えなきゃいけないのかみたいないところがないということがまず入口として問題なんじゃないかな。
01:18:25	思います。
01:18:27	そうすると、どういような考えが必要かということなのであって、極論からいうと、表層考えるのか考えないのかっていうことから、
01:18:38	議論が本来あるんじゃないの。
01:18:40	思ってるんです。
01:18:43	志田も当然のごとく進んじゃうから、元の説明ってっていつもなるんですよ。
01:18:49	ていう本当の入口に立ってくださいと。
01:18:51	ということです。
01:18:54	そこ、わかりました。
01:19:00	で、もう一つこの資料の大きな欠点もあるのは、
01:19:05	結局六ヶ所サイトへの一般的な考え方の適用というところで、一等としてみなすことができる結論がいきなり出てきちゃう
01:19:14	いやこれを言うために、
01:19:17	どういうデータ分析があって、こういう状況だからいい。
01:19:22	一体でできますよと言わなきゃいけない。
01:19:25	何で結論が最初に来るんですか。
01:19:31	そのためには、標準的なその一般的な考え方のところに、
01:19:37	どういうものだったら違うということで考えるのかとか、

01:19:42	そういうところの考え方の、
01:19:45	お作法というか、ポイントを、
01:19:49	持ってこないと、単純に一般にはそれぞれでMIMASだけだと。
01:19:55	展開できないんですよ。
01:19:58	途中浜崎から奥野さん和田さんに、普通どう考えますというようなところで、直近であれば、ある程度一体で、
01:20:08	やるけども離れていればというようなことが、実態としてやっていて、うん。その時どう考えてますか。
01:20:14	いうのをひも解けばいいわけ。
01:20:16	これは前野芦田委員でも私も申しあげましたけど、
01:20:19	それが書いてないから、
01:20:21	それはいや、ちょ、地盤の方でやって表層じゃありませんっていうかもしれないんですけど。
01:20:26	考えと一緒にですよ。
01:20:28	ていうところを、
01:20:30	入口ちゃんと紐解いてください。
01:20:35	そんなふうには具体の
01:20:40	当施設あるけど
01:20:42	では、戸田原野は強い長さ二相でして、すみません、62日の方の資料の頭がまだあるんですけども、この2日の資料の所管はですね、
01:20:55	新生地盤モデルと、表層地盤は、
01:20:59	適切ですっていうことを言ってるだけの資料。
01:21:03	うん。
01:21:03	今、長さん言われたように、片や、一般的には、ここも、
01:21:10	現状、もんじゅで例えば基づいて設定しますと言いつつも、
01:21:15	なぜ6ヶ所は、
01:21:18	平均的にとっ平均的にふやすことができるのかっていう、その展開がですね。うん。
01:21:25	いや、
01:21:26	統計分析するところ、
01:21:29	そうになりました。言ってるだけしたんですよね。そこの以上にわかりにくっていうのは私の所はないですか。
01:21:38	坂野西郷の話が出て、普通ならこうするよと。

01:21:42	今大友差分で比較するのか、
01:21:45	決して二つ目のこの資料を否定するのは全くないんで、含まないんですけども、
01:21:52	これはあくまでも参考であって、教科書として、
01:21:57	表層地盤としてはどういうモデル化をするのかっていうのは、
01:22:01	いいんだという考えがあったそのサンプルにはこうなるんですけども、はい。フィリピンは、うん。要は土木では先ほど海野さんおられたように、土木では、エリアでの一番アンプセットに決めるのに対して、建築ってどうしてもやっぱり、
01:22:15	団体の
01:22:17	物性値が、それは結局、床応答だとか、聞いてくるわけ。
01:22:22	いうことがあるんで、やはり土木との違いってのはあるんです。
01:22:25	どうもやると否定するものでしょ。
01:22:28	その違いはここには言えないけど、
01:22:31	先ほど調査会入れてる。
01:22:33	最初のときかな。グルッと次のポチになると。うん。
01:22:38	何でという方も、論理展開なってるところが非常におかしいと。
01:22:44	もしないと判断っていうのは、関連のことです。全然反論ではないんですけども、ここで、これ大阪本社、私なんですけども、これをお伝えしたかったことは、
01:22:58	通常は建物がある、
01:23:01	周辺といいますか直近のデータで設計するこれが基本であるというのが一般的な考え方であるとこれ今六ヶ所サイトは、このこの人工芝に関して言えば、
01:23:13	掘削して埋めるという単位がこの六ヶ所サイト全体であったというのが特徴的なところだというふうにとらえております。そうすると六ヶ所サイト全体が、
01:23:24	掘削して埋め戻したという時にはこの埋め戻した全体に対してのデータを取って、物性値として設定するというのが標準的なやり方にのっとったやり方になると。
01:23:37	いうことを、ここでは申し上げたかったということでございます。
01:23:41	なので素直に考えると、ちょっとこういう形に、やっぱり初心設定する形になるだろうねというふうなふうに思いましたし、これを、

01:23:51	ゼネコンさんにもちょっと伺ったところ、自然なやり方だねということもおっしゃっていただいたんでこういう形なのかなと思って、ちょっと書いてみたところでございます。すいませんちょっと間が抜けて、ここにいるところが、
01:24:05	ちょっと私も頭これ固まってるんでよく見てみたいと思います。
01:24:11	日本業務における補足させていただきますと今日、6月6日に出した資料の1ポツ目でスペースあいてる、このスペースが全くないということをお気がつき、つきましてここをちゃんと埋めてきて、
01:24:23	そのバックデータがこの文学藤川様は、古作です。ごめんなさい。
01:24:28	6月2日の資料は、バックデータになってなくて、
01:24:32	モデルに入力する条件の設定の考え方。
01:24:38	汗設定プロセスみたいなことになって、
01:24:43	その入口、もっと手前のところでの、
01:24:46	六ヶ所サイトってこういうところですよっていう説明を求めているわけ。
01:24:53	今の、
01:24:55	野本さんの説明で、一応火六ヶ所サイトのと書いているところの一つ目のポツの地盤をつくり括弧全面掘削全面埋め戻しと書いた趣旨は理解をしましたが、はい。
01:25:12	そう。
01:25:13	まずはそう分かるように書いていただくということだし、一方で全面掘削全面は埋め戻してあったとしても、本当に均一化っていうことは、
01:25:25	疑問は残るわけで、
01:25:27	その用語だけではとてもじゃないけど信じられなくて、はい。であれば、こういうようなところのデータを見て、全体的にこれぐらいの、
01:25:36	ものであって、
01:25:41	別という形で扱うものではないんだと、いうことの確認をされているんだとすればそういうことを言ってもらわなきゃいけないと。はい。
01:25:49	ということだと思いますんで、それが二つ目のポツ2、少し書かれているようにも見えるんですけど、これも結論でしかなくて、
01:25:58	ばらつきを有するが偏在を示すものではない、ちょっとここに説明します。
01:26:05	そういうことなんで、



01:26:09	ちゃったところのこの地盤が、その均一だということを、本当かというところの説明が必要だとおっしゃってるのはその通りで、それがですね2日にお出しした資料の、
01:26:21	最初の方に、その地盤の方、地盤は金庫の施工管理に基づいて、施工管理されておってという説明をしていると。これがその根拠に相当する、
01:26:33	ものになってございます。
01:26:36	現実、
01:26:38	あれすんだ。
01:26:39	はい。
01:26:41	古作ですけど。はい。すごい漠としか書いてないので。はい。
01:26:45	これって本当っていうのがやっぱり、
01:26:48	理解できないんですよ。そう言ってるけど本当はいろいろあるんじゃないのって思っちゃうっていう。
01:26:54	全般的にですね、
01:26:56	SGのように、はい。
01:26:58	疑われてるんだと。
01:27:01	いう意識を持って説明した方がいいですよ。はい。確かにその、やっぱりちょっと何らか定量的なものが要るんであろうというふうな考え方のもとに、すいません
01:27:14	はい。現物のデータが当然あるわけだから、現物のデータをプロットしたら、それはほぼ一目瞭然になってくるんじゃない。
01:27:25	おっしゃる通りでそれをですね、できるだけ表そうとしたのが、2日の資料の右下の通しページ5ページ目のところ、
01:27:35	にございます埋戻強度特性の
01:27:38	ストーリーの資料がなくてやっぱり見られ、
01:27:42	説明したい。法人のこうですこうですというのは後から言わないと読めないっていうかですね。はい。常に我々が求めているのは、科学的なデータをちゃんと、
01:27:55	こう出すそれから指ですと言われてる。
01:27:59	そういうエビデンスじゃない。
01:28:02	そうですね。はい。
01:28:06	パーツはあるんですけどもちゃんと全然ストーリーをやってなくて部屋は精査してください。

01:28:13	うん。
01:28:14	いや、
01:28:16	当然設計のものでございますが、
01:28:20	この競争の梅本児童につきましてはですね、
01:28:24	地盤耐震地盤 01 で、去年から浜崎さん、いろいろと
01:28:30	いただきました。
01:28:31	ご説明をさせていただい
01:28:33	て図の 2-1-1 図でそのせいなん
01:28:41	に先ほど言いました
01:28:43	島だけで戻ってっていう、大体の参考 9 ぐらい
01:28:48	PR。
01:28:49	労働がありますんで、掘削が 1 回本ところ起きなくする。
01:28:53	で、それで、
01:28:59	梅本椎野、左方もですね、土木的
01:29:02	ですと、ほとんど
01:29:05	を占め方。
01:29:07	実際の最大管理費に対する
01:29:09	測定間隙比が、
01:29:11	90%以上。
01:29:13	CBR
01:29:16	やるやり方で、大体均一にできるっていうふうな作業方法ですねここで いうと
01:29:23	あとでやられてて、それここでやられてる 3 回に分かれてる 2999 年
01:29:30	以前
01:29:31	2000 年
01:29:32	で、
01:29:32	ほぼ同じ。
01:29:33	仕上がりになってますよということはですね。
01:29:38	データにつきましてはですね。
01:29:46	それぞれですね、観測報、これ実際には 15 個ございまして、データ としては 93 のデータがございまして、それらの速度構造をですね、上 本指導の
01:29:57	速度構造を書かせていただいて、

01:29:58	ちょっと、本来は事実データしか示し、
01:30:11	傾向が見られまして、もともと我々がですね、この時座間へのですね、 事業許可を出した時にですね、
01:30:18	JR のですね 44601-2008 の中に
01:30:24	ですとか、ジャクソン
01:30:26	ですね。
01:30:33	指示がございましたので、
01:30:35	事業許可書、申請書
01:30:39	定義させ
01:30:40	それが、
01:30:41	実際に大丈夫なのかどうかという、
01:30:45	ね。
01:30:49	資料、
01:30:52	先ほど、この間、
01:30:56	実際にこういう面談をかけて、
01:31:04	考え、
01:31:04	ふうに考えた。
01:31:22	根井。
01:31:35	それが
01:31:36	はい。
01:31:43	工事の、
01:31:45	で、
01:31:47	なるよ。
01:31:50	なんて。
01:31:58	土田。
01:31:59	上本。
01:32:00	根井。
01:32:08	河井。
01:32:14	当面設計部ですけども、
01:32:16	おっしゃられる
01:32:18	的な掘削。
01:32:25	形を合わせて基本的には埋戻量と、
01:32:32	歳出、

01:32:34	ね
01:32:37	最近
01:32:37	抑え
01:33:00	支え、
01:33:21	内容のことですから分かれてるのは、なぜ言葉入ってるわけじゃない、見てましたけど、大事なんで、それ、それは骨格で、それが本
01:33:31	言うところをエビデンスない名前つけて、それはその結果だけじゃなくてそのプロセスの中での部分部分ということ
01:33:40	フェスがあってそしてその結果を見ると、そんなにおかしくないよね。
01:33:47	のね。
01:34:01	その上で、
01:34:04	ちょっと違う。
01:34:06	いると。
01:34:07	いう、調整はしているものの、管理の仕方が違っていると、ということなのでそこは
01:34:15	その違いが
01:34:17	モデルの設定において、乳井じゃないということをおうとされてるっていう理解でいい。
01:34:22	いいすかね。はい。
01:34:24	はい。その時に、今の第2-1-1-2 図、
01:34:32	回帰直線を見せ、
01:34:34	そんなに違いますよと言ってるようにも見えるんですけど。
01:34:38	これって本当に違わないんですかとか、
01:34:41	言ってるところいまいち。
01:34:43	じっくりこないんですけど。
01:34:45	これはこれだけで説明足りるんですかね。
01:34:51	ところも、結局、多分これだけじゃなくて新規に作ったところも、
01:34:57	掘削してるでしょ。はい。ね。なんかそのの、
01:35:01	ものは、また新しいデータになっちゃうよね。
01:35:04	だから、いくつかやっぱり年代ごとにあるわけじゃないですか。
01:35:10	ね。そうすると、さっき言ったプロセス数の中の、要は、
01:35:14	掘削の埋め戻してるんだけど、施策は目へと。

01:35:20	あればそれはいいかもしれない。場所場所でやっぱりっていうか、年代ごとでやった工事期間ごとで、の方が説明がしやすいよね。
01:35:32	そのプロセ数との関係だね。ただしそれは最終的に全体見たら一緒だったっていうことはあり得る。
01:35:41	結果としてね。はい。
01:35:43	なんだけど、考え方としては、
01:35:46	要は、工事のプロセスね、工事方法からしてみたら、年代ごと要するに、
01:35:55	1回でやった造成、
01:35:58	っていうか梅本市区画ごとにセットするっていうのが標準的。
01:36:03	になるんじゃないの。
01:36:07	っていう方がむしろ自然だよ。
01:36:10	たまたま、データの的にはそんなに変わらなかったっていうのはあると思う。
01:36:18	だから最終的には一緒にしますっていうことになるかもしれないけれども、
01:36:25	教授案としては、
01:36:28	古作遂行と。
01:36:30	で、皆さんがやりたいの一体でやりたいと思うからそうなんだけど、
01:36:37	第2-1-1-1 図見ると、
01:36:41	これに辻井グループの1237と、
01:36:47	123じゃないのか、AM云々と当てはめていったら、このエリアをこうしますと。
01:36:53	いうのでできそうなエリアになってんじゃないっていうのに、なぜわざわざ一体だと説明しなきゃいけないのかっていうのもよくわかんない
01:37:21	梅本1、
01:37:28	見て。
01:37:31	における一つにしたいという御粹、八つあり過ぎたので、要は、どこで一つにするから問題だと思いますので、
01:37:39	何から何まで全部一つにしてあわせなあかん、初めから杉沢さんこれ全然なくてですね、ちゃんとデータに基づいて合うなら一つにすればいいし、違うなら違うで。

01:37:50	どうせ、差分で見ていくところですので、そこに無理やり合わせ必要はないかという認識いたしましたので、もう一度見直し途中シナリオ、
01:38:01	っていうのを入れない。はい。どうなんだ。どうしても入っちゃって、基本シナリオっていうのは、やっぱり工事ことで、やはり、まず、
01:38:12	ある区画を一斉に1回でやりましたと。
01:38:17	で、その工事は、当然、埋め戻す値は、ちゃんと
01:38:26	均一になるように、ちゃんと調整したものを全体的にあったんで、前津野工事区画は、そんなに、
01:38:35	調整したものを入れて、工事方法一緒ですとか、熱測定方法
01:38:43	をそれを基本にしちゃった方が、説明は、
01:38:49	そこにまた、
01:38:50	違う。
01:38:54	それを説明しないといけないその説明シナリオいる。
01:38:58	シナリオ何本
01:39:00	と。
01:39:02	シナリオの統合っていうことをしないといけない。
01:39:05	て、結果でもって、一つの人でした。いやだからおんなじだと結果論としては一緒になるはずのは、
01:39:13	そうするとそこには、と同じになる理由が、多分存在してるっていうことになる。
01:39:22	できるお話としてはやっぱりプロセス。
01:39:25	何時であってから同じであるので一番頭一番なんていうのは、じっくりくるものがいいわけでしょう。
01:39:33	結果っていうことになります。皆さんの話ちょっと今、
01:39:36	そういうことじゃないの。
01:39:39	それもそのプロセスとして、交換しますというの、これは根拠と言えます廃止の影響だから、
01:39:46	ある時期を違ったものを一緒にしますっていうことだよ。になると、そこを調整したし要は、全然、
01:39:56	土自体が、はい。の調整の仕方が違うじゃんってなってる。
01:40:02	違ったらいかんということではですな入れたら違っちゃってるんで、もう
01:40:09	はいはい。

01:40:11	ね。
01:40:12	これは厳密にはねいろいろあるけれども、あるエリア、掘削したやつを どんどんここに置きましたと。うん。ていう工事なんだよね。で、
01:40:20	ここをボーンと戻すんだけど、こいつは全体をちゃんと調整して、戻して ますっていうやり方。
01:40:30	でもこっちのあるエリアはあるエリアのところ、掘削したやつがぼんと 置かれてて、物を調整したわけよ。
01:40:37	ちょっと調整したやつを、
01:40:39	一緒かどうかわからない。
01:40:43	それぞれの施工において、材料基準を何に基づいて材料を何に基づいて やりましたかっていう形の品物がさ、
01:40:52	の話だからねだからそういうところまで遡らないといけないと。
01:40:56	なんていうのテーマ書けないといけないので説明。
01:41:01	ちょっとまだでも説明できるように、結果論で一緒の方が、これとこれ の、いや、違って、
01:41:10	1回やってみないと、そこに手間をかける必要がある。和田。
01:41:16	おっしゃる通りテーマが厳然だあれば、ではこれいずれしろねそこに載 ってないエリアがさ、もう現に存在するわけですね。
01:41:28	はい。
01:41:30	首藤としての能勢
01:41:32	なんていうのは、僕はあれしなないといけないエリアだってあるわけ、何 か、なぜいいね、これだけ四つある中でね一行だけ保坂です。梅本志道 じゃなくても、今回梅本宍戸の資料になってるからあれなんだけど、は い。
01:41:47	今回の議論は表層っていう意味なので、再度表層はあるでしょっていう ことをどう扱うのかっていうのが大枠でないと、
01:41:57	他社とは、
01:41:59	とりあえず今、
01:42:02	グルーピングで見渡したところ、私ストアのいい施設がまざっているの で、
01:42:09	そこだけはちょっと、何らか言っておかないといけないのかなとは思 いますけど。

01:42:14	ちょうどまざっててこういうようなところでこうしますという中に、これ、最終的に一体でやるんだってらってところの検討も入ってくるような気がするので、
01:42:25	考えずにいただければ、はい。
01:42:28	施設も、施設、
01:42:31	博物館、
01:42:33	廃棄物管理棟、今だと、一節周辺という中に、施設と経営委員も入った形、KB。
01:42:41	も入ってないで、
01:42:43	廃棄物管理施設、
01:42:44	再処理の方の岡田委員。
01:42:46	のが一体になってる。
01:42:49	ちょっとそれで最初に井川、この緑側のエリアなんですけど、
01:42:54	違う、施設は水、
01:43:02	確かに製造月違ったよねみたいな。
01:43:11	やっぱ、
01:43:12	楽じゃない。
01:43:15	何をやった方がですね、それで標準とって作る分には何の議論もない。
01:43:21	いやだからわざわざ違う時期にやったやつを拡大してそれも一緒ですって言う必要は、説明する必要はないんじゃないですか。
01:43:31	はい。発注はそれほどないんじゃないかという。
01:43:34	ちょっと素直に私は思ったのが、それは高校の埋め戻しの時期を打つっていう設定の考え方もあるんですけども、この取れてるデータ見たときに、
01:43:48	このボーリングデータってこう札幌ごとに結構ばらついもんだと思っていて、管理、何すか、先が始まったそのプロセスを、ちゃんと一定のもんだというプロセスで説明がつくものなので、
01:44:01	すごい代物なのであれば、そのサンプル数はふやした方が知らせが上がるかなと考えたんですが、補足です。磯それは、
01:44:09	大事なポイントだと思うんです。はい。特に直下といった時に1点しかねえじゃねえかと言う事があったときにどう考えたっての多分あるんだと思うんです



01:44:19	なんですけどであればその
01:44:23	で、そしてしかないときにその信頼性はどうか考えるんだと。
01:44:28	いので信頼性悪いはずのばらつきなのかもしれないですけど不確かさをどう抑えて、どの程度の信頼性を幅を持ってやるのかと。
01:44:39	いことの時にこういうふうにして、
01:44:43	特徴をとらめたいと、いことを言うのであればね、データ点数を取りたいというようなことがあったり、そのデータ点数と、
01:44:51	でとって、
01:44:54	これもやっぱり入口をちゃん
01:44:57	事がやっぱり議論にならないということです。
01:44:59	中瀬。
01:45:01	東郷。
01:45:13	エリアの平均がいいか
01:45:14	が問題っていの、
01:45:31	ポチャン
01:45:34	工事法
01:45:50	統合するシナリオを次に
01:45:55	いけないね。
01:45:58	平気
01:46:03	ないという
01:46:11	シナリオの統合したとき、
01:46:16	すいません、今、
01:46:18	磯辺です。
01:46:20	データ点数の話をして、どちらかと直下の方の話で出てくるかなと思ってたので、売れた。
01:46:28	表層は、データ点数の問題でこれ統合するっていうこと。
01:46:32	ですか。
01:46:34	実際にはですね、全体から見ると、網羅されてるわけじゃないですけども、数的
01:46:44	っていう
01:46:45	と、とにかくこの問題は、すでにもう近傍の問題じゃない。
01:46:52	いやだから、えっとね、最初の中にエリアを作ったときみたいに、少なくとも、ネポンと本来だったら建物周りご一考を、

01:47:03	競争をちゃんとやるっていうことになるんだけどね。そこがね、自主的に全部1回掘削して、同じ時期に同じ工法で戻したんですと。
01:47:17	ね、土もね、ちゃんとね調整したもので、大体均一的に戻したんですというのがあるから、そこは1体とみなしても差し支えないかっていう、
01:47:29	根拠がない。
01:47:31	そうです
01:47:32	ね。だから、す。このエリアは平均的に使おうというエリアを拡張しただけだよ。
01:47:40	だから、だからそういうことなんじゃないですかとだからデータ数の問題では決してないはずなんだよ。
01:47:47	プロセス、プロセスをちゃんと、だからね、大蔵がそういうそういうところにこだわるわけですよ。
01:47:53	うん。
01:47:54	だからここはイレギュラーなんだよ。
01:47:56	イレギュラーなんだけど、そのね、工事の方法ロジックが、
01:48:02	あるから、
01:48:04	そこは平均で見てもいいかなあということがこれね、ちゃんと出てないとわかんないけど、仮にいいということになればそういうことなんだ。
01:48:14	じゃない。はい。
01:48:16	だから沼田さんのロジックっていうのは、その次の話なんだけど、そうするとデータ数がより多いほうがいい。それはいいんだけど、
01:48:24	その前に平均していいかどうかっていうのに、永久がそのロジックがセンターが少ないことによって崩れちゃうんだよ。うん。
01:48:34	平均として扱って、2代物かどうか先があって、だから単に結果みたら一緒だったっていう方が、
01:48:43	音で単に一緒だったから、もう混ぜ合わせて、一体にしちゃいますよっていうのはあるんだよ。はい。
01:48:51	でもそこに変なね、理由つけるとね、前が崩れちゃうって言ったんだから。
01:48:56	ロジックの連続性が崩れるわけ。
01:49:00	だから統合できないロジック、どこで統合するからね。
01:49:05	もう一度考えて、はい。
01:49:06	古作です。で、一応今、

01:49:09	それぞれの、その時期ごとってというのが、2000年の前後で、こういう状況ですよってというのは整理をされてるので、
01:49:19	その違いがどの程度かっていうのは、情報は残しといていただいてもですね、はい。はい。はい。
01:49:26	少なくとも
01:49:28	粒径なり何なりの調整の中で同等なようにというように施工したんだと、いうことがあるのであれば、その結果としてこういうようななってますよという説明をされるのは自然だと。
01:49:40	そ、その事実関係だけはまとめておいて、
01:49:43	地盤モデルの設定という関係では、一貫通貫の考えで一旦やっていただいて、その上で藤さん。
01:50:00	ステイン
01:50:02	形なり、調整したと。
01:50:04	で、
01:50:26	龍馬
01:50:30	証明で、
01:50:31	村井。
01:50:38	いけない。
01:50:48	やりたいんだ。
01:51:19	でしょうがない。
01:51:25	はい、瀬山です。
01:51:27	性状がわからないから、この資料に関して、
01:51:32	上出ですけど、今のプロセスが一緒であればという話をしましたが、要はその結果どうなってるかっていう観点で、こういうデータをこう見みて同じですよって説明をして欲しくてですね。
01:51:47	うん。
01:51:48	最後の、実際ボーリングのデータだったり、ついてますから、この結果のデータをこう見ると一緒なんだと。
01:51:56	いう見方をちゃんと説明してください。以上です。
01:52:01	長田です。ごめんなさい。それ言うのはさっきの
01:52:06	2000年前後でっていう比較っていうのと同じなんですけど、同じ同じつ明日年代のやつであっても場所によって違わないのかみたいな話をちゃんと対比してもらわないと。

01:52:17	本当に違わないよねっていうことが言えないっていうことだろうなと私も思って。
01:52:24	データで、そこはそのエビデンスっていうのが、
01:52:29	インプットが
01:52:31	仕様だけじゃなくてアウトプット側のデータということも含め全体として、どういう状況なのかっていうのをまとめていただくということかと。
01:52:41	ます。
01:52:43	関西電力でございます。承知と一緒に。ご趣旨承知いたしました。尾野さん。
01:52:50	お出しするデータの名簿数ありますか。
01:52:54	そうですね。ちょっと。
01:52:55	来週ぐらいは整理させていただきたいなと思ってますので、大体こういうデータをお出しすればお答えなのかなという思いは古作です。
01:53:04	1シキイ耳そろえ来週全部耳そろえてという意図ではなく、
01:53:09	今、野本さんが言われたように、こういうものを、こういう対比で出しますと。
01:53:14	ということで、説明方針、
01:53:18	クリアにするような形で
01:53:22	下の資料の
01:53:24	説明のパーツをちゃんと書いていただいてこれはいつ入れますみたいな、
01:53:30	もう今後入れます。
01:53:34	をするつもりなんだ。
01:53:37	PR。
01:53:39	まずはそういう状態にしてください。
01:53:52	平均してもいいと。
01:53:59	子育てです亀井さん、すいません、よくやりましたけど、
01:54:03	いいです。
01:54:05	はい、小峰大丈夫です。
01:54:09	ないですかね。
01:54:11	夏目。

01:54:18	えっと、内容って規制枠幅ですちょっと私の方からですね、今日の資料の位置付けは、科学的技術的なバックデータということで、認識してま す。
01:54:29	ので、
01:54:31	今まで出たコメントについて、結果が書いてある。
01:54:35	てもらいたいというのが一つです。
01:54:37	ただですね、これ、次のフェーズの設計とかいう観点でちょっと物を申 すんですけども、
01:54:42	それを念頭に置いてくださいという意味で申しますけども、まず、深澤 井戸に関して、今まで私の方からですね、指摘してきたことっていうの は、
01:54:53	ある意味、梅野が、深澤伊賀を持ってるっていうのは、許可の段階でも う、
01:54:59	今日はされてるわけです。
01:55:01	で、
01:55:03	だから、そこには何ら、何だっていう、極端ですけども、あまり疑念を 挟む余地はなかったんですけども、
01:55:12	ボックスは競争に関しては、深さを考慮しません。
01:55:17	で、
01:55:18	その扱い、使い分けはどういうしてるんですか、どういうために買った んですかということで、指摘してきたものです。で、これは5月の段階 で、去年度は深さ依存度特性を持っています。
01:55:30	もう、この場合の表層は六ヶ所層に関しては、最初に特定持ってませ ん。造成工事を持ってるんですけど、
01:55:37	六ヶ所層が基本的ながら考えて、設計的には、六ヶ所等は火災の考慮し ませんです。
01:55:44	こういう説明があれば、
01:55:46	もうよかったんですって。ただ、今回のように、もうこ統計的な処理で 深さ依存を考慮してくれ、もうんなってきてるだと。
01:55:57	いう一つの、
01:55:58	エビデンスが示されたということでですね、これはこれ、パッドという 意味で、かち合ったというか、考えますので、

01:56:07	設計的にどうすんだという話もあろうかと思うんですね、頭に置いておいてもらいたいという一つの話
01:56:14	もう一つは、統一今日本日付の資料にもあるんですけども、表層に関しては、一応時間とみなすことができるっていう、随所に出てくるんですけども、
01:56:25	すでに示されている入力等の、
01:56:27	比較で、
01:56:28	平均棟直下の秘訣規格で、表層地盤をパラメーターにしたときに、FDCA 系っていいかな。
01:56:36	に関しては、やはり平均地盤でないと、直下の条件、これ表層を変えた条件を変えたときと、条件で入力の差が出てくると、明らかに差が出ますね。
01:56:48	それと、今日もこの医長ですという資料も繋がり、これはどう考えるんですか。はい。うん。
01:56:56	これは
01:56:58	次の設計的にどう考えるっていうところに移行する、するんですけども、
01:57:02	その点も含めて、
01:57:05	この科学的な根拠として、
01:57:08	今のままぼけ十分なのかどうかも含めてですね、検討してもらおうっていうのは、
01:57:12	すいません。はい。
01:57:14	よろしいでしょうか。
01:57:16	重ねるものでございます。承知いたしました。
01:57:22	施設は好きですけども、他になければ、ちょっと、
01:57:28	過ぎちゃった。
01:57:40	2 ページの下の方に、
01:57:46	それ、
01:57:59	三つ目のポツのですね 1 行目に、
01:58:02	解析モデル。
01:58:06	うん。うん。
01:58:10	うん。
01:58:11	それを、

01:58:12	認識した上でこのように指摘したように、
01:58:16	的事項として入れちゃうと、
01:58:19	認識してくれた。
01:58:26	全体的に間違っただけを言っていないんですけども、どうもですね、三つのポチ、いずれも、
01:58:31	前年の4月の指摘をしたことに加えて現在の考え方、
01:58:37	加えて、アレンジした文章になっている。
01:58:42	うん。
01:58:43	はい。
01:58:46	例えば、
01:58:46	うん。
01:58:48	文章。
01:58:50	申請地盤モデル。
01:58:51	ちょっと反映されていないから、
01:58:54	理由を説明することありますけどね。
01:58:56	もう一方で直下地盤モデルについては、直近にデータがあるにもかかわらず火災をしてないものが、
01:59:03	伝えまして、それが本来、
01:59:08	二つ目の文章も、
01:59:10	本自分、
01:59:15	の会合時点の資料の地盤モデル。
01:59:19	こういう言葉でもらって、
01:59:22	8番目。
01:59:25	信号。
01:59:27	労働作業にチャレンジしております。
01:59:32	はい。
01:59:40	地盤モデルと、もっと資料で初めて出てくる基本地盤モデル。
01:59:47	土産抜け等です。まず正しくなくてですね社内で議論してるそのまま載せてしまった、略したコメントで残る載せてしまってます。大変失礼いたしました今後、
01:59:58	正確にきっちり書かして、直させていただきますので、2枚みたいな
02:00:03	言葉の違いなんかも起きないように、

02:00:06	きっちり議事録も残っております。それをさせていただきます。申し訳ありませんでした。出させてます。
02:00:12	お願いします。はい。本来でしたらですね指摘された内容、モデルのそれに対する理念、考え方とか解釈、この対応方針と、明らかというんだったら、はい。ただいまそれミックスした形で、
02:00:24	他にも更新されます。これは、
02:00:29	はい。
02:00:31	違うんですね。
02:00:40	はい。
00:00:00	規制庁の竹田です。それでは最後に本件の方から、振り返りをお願いいたします。
00:00:14	その上、出席させ、
00:00:17	時間は、
00:00:19	いや、ない。
00:00:26	はい。
00:00:28	それでは本日の関西電力の方でございます本日の振り返りでございます。まず、全体に対してでございますけども、資料につきまして、今現在の立ち位置からのスタートになってる資料になってしまっているというところがありますので、申請時点における条件、考え方を
00:00:45	まず形として整理しその上で近隣からの時間経過っていう新規性基準を踏まえた状況変化を踏まえて、何を説明するかの観点から資料を構成するというところでございます。
00:00:56	2番目 Sec 最初に立ち返りまして、各委員に対する標準的な方法考え方を整備することで見えてくるモデルにつきまして申請して角細分を成立。
00:01:07	いうのをちゃんと踏む
00:01:12	場面作ろう。
00:01:20	等
00:01:22	一つ目はですね、気になるのは、申請時点とか、条件考え、
00:01:28	ていうのは変な限定かかんないかなっていう
00:01:31	いやそのつもりなのはわかってんですけど。
00:01:34	なんですけど、連れてやるなんていうのはさっきの話からすると、大瀬新世前。



00:01:40	うんから、モデルの時に、1人かということがあってという。
00:01:47	ことだし、
00:01:48	そういった設計プロセスの中でどう考えて、
00:01:56	ていたのかと、というような事実関係だったり、或いはその申請後の設定ヒアリングなり審査会合での説明、うん。
00:02:05	の経緯。
00:02:06	はい。いうことだったりというので、最初からもう1年、
00:02:11	ていうと、
00:02:17	それを反映して、これが当初の設計プロセスにおける考え方かな。はい。
00:02:26	dす。
00:02:27	そうです。その次が、最初に立ち返りというのはこれ標準の話っていうこと。
00:02:35	はい。て、
00:02:39	これも教育だけではありますけどいきなり各ECとくるわけでもなく、
00:02:44	全体があった中で、
00:02:48	Ssというのはあると。はい。いうことで
00:02:53	印紙が出てきて、うん。
00:02:55	それに対応して説明が必要だと言う流れを
00:02:59	変えるということにちょっと入れていただきたい。
00:03:08	ん。
00:03:09	必要な説明項目ですよ。
00:03:15	状況。
00:03:33	はい。はい。
00:03:39	次ですね、6月、審査会合の際には現状として出た8000件と一番までの説明が繋がるよう資料を作成すること、全体として、
00:03:49	その次に伴モデルの説明については基本地盤モデルの仕上がりのサンプルを、を示すとともに全体の基本地盤モデルの作成見通しについて説明すること。
00:04:01	次は表層地盤の個別話でございます。埋め戻し通りに、埋め戻し動のみに係る資料として作成するのではなくって目戻しの考慮する場合に、
00:04:11	モデルに設定する表層地盤の考え方全体としての平戸すること。

00:04:16	次がモデルに設定するパラメータの設定プロセスの広井でしかないと ため、60 サイトの特徴を踏まえて、どういうパラメータを表します。
00:04:25	観点を明確にした上で、根拠として、カフェにするべきデータを整理 し、そのデータ生かそう
00:04:35	次が上も執行時の範囲、プロセス品質管理の方法等を説明した上でその エビデンスとしてデータを示すことで根拠を説明すること。
00:04:44	次は壬生市の一体として扱う範囲について標準的一般的な考え方として は、工事を実施した2.5 トングループ単位で、分析を整理するとした上 で整理しその上で、
00:04:56	ちょっと整理がある。はい。
00:05:00	その上で、インプットとなる品質管理業元やアウトプットとなる一番デ ータの類似性を示し、結果として一体として扱うことが可能であるかを 説明すべきであると。
00:05:13	して、
00:05:19	米
00:05:21	清水香田ですね。はい。
00:05:30	類似性を示す。そうするとそこに行く。
00:05:33	類ですよ。
00:05:35	類似性ってというのが、
00:05:38	いるから、はい。
00:05:41	山田さん。
00:05:42	青井。
00:05:44	うん。
00:05:51	美智子ちゃんがね。
00:06:01	グループ単位で変わるからね。はい。
00:06:03	で、次ですけども、施設周辺のグループと同じエリアにおいて、
00:06:09	実は含まれた。
00:06:11	上で、含まれ、
00:06:14	いや、別にこれは適切である必要はなくて、何だろう。
00:06:21	住民グループの、
00:06:23	のところのグループの中に、
00:06:26	競争が違うものが入って、
00:06:28	室ってという意味合いで私、かしこまりました。

00:06:31	工事の年齢も跨ってる。
00:06:35	同じエリアに終わってにおいて、埋戻し工場の年代も跨って、
00:06:40	2課跨っている場合の扱いするってもらって、はい。
00:06:45	すいません。最終的な設計への反映面等に前回会合で示した感度分析結果をどう解釈するのかを示すこと。
00:06:56	で、次が許可段階での分析設定の考えと、第1回申請のMOXの分析設計を考えるの使い分けについて、
00:07:07	最後4、当4月会合の指摘事項については正確に記載することと、
00:07:13	以上でございます。
00:07:18	はい。はい。補足です後半部分はもうちょっとまとめてもいいんじゃないかという気はしましたけど、守れるよりはいいので、
00:07:26	相互に関連してるものはあるんで、対応は適宜、
00:07:30	見ていただければ、
00:07:35	上出さんいいですか。
00:07:40	はい。大丈夫です。
00:07:46	規制庁の竹田です。
00:07:48	それでは、全体に対して何かございますでしょうか。
00:07:53	上出ですけどそれで、
00:07:56	会合に向けたスケジュールというか、その辺の話をしなきゃいけないんですけどいかがですか。
00:08:07	進め方、
00:08:18	会合に直接ではないですけどこの残りのですね、データについては、今今週木曜日にご提出して来週の頭に、
00:08:30	ヒアリングで確認していただくつもりであります。そこも含めて、それはこの間の進め方の資料に書いていただいて、
00:08:42	手なんですけど、まずはこんその資料を書いていた時は、
00:08:48	今日の、今日3日2日のというか、資料レベルで考えていたスケジュールと、はい。
00:08:54	ということなんです。で、今日話をしたところで、
00:08:59	視点として足りないこと、最低限書かなきゃいけないことっていうのは認識を少し改めていただいたと思うんです。
00:09:07	で、それを、
00:09:10	本木曜日に出すと言っていた資料に対してはどうしますか。

00:09:15	いうことが、まず確認をしなきゃいけないですけど、はい。
00:09:20	はい。最低限反映した。
00:09:22	木曜日に出せるということなのか、とりあえず出させてください。
00:09:27	ということなのか。はい。
00:09:29	そういう意味では、とりあえず出させていただくことを目指すのがいいのかなと思いつつ、
00:09:39	そうですね。ちょっとはい。結局
00:09:41	今の状況変化を踏まえたところをきちんと浮き彫りにして、検討項目を書き、
00:09:50	載せないっていうことを考えると、
00:09:53	ここでは
00:09:54	多分こういうのがありませんっていうのもお呼びいたします。なるほど。一番合っていない。なるほど。家族です。はい。
00:10:03	そう言っても書き出しても足りないだろうというふうな不安感があるのは十分わかります。
00:10:09	ので、なるべく頑張って、
00:10:12	それで足りなければ、はいそうかて再認識していただければいいですから、見せることで、
00:10:20	いなくて、やっぱり言われたというのとこちらはもう、こんなのも言わなきゃいけないのかよ。
00:10:25	思うのはやっぱり、関係性としても違うんで、なるべく行ってみて、ああいうところまでは理解したんだって思えるといいと思いますから、時間ちょっと。
00:10:38	程度
00:10:42	その上で開校の日程もあるので、木曜日には出していただいて、早めに
00:10:53	こちらの認識との差分があれば、早く話をしてということで、営業店月曜。
00:11:01	今、お願いしてるのはそのようになってございます。
00:11:04	今回のやつも、
00:11:06	この程度の話であれば、
00:11:08	時間、
00:11:10	同じようにやって、
00:11:14	その上で、その話をした上での資料を、

00:11:19	いつぐらいに出せるのかというのが大事で、
00:11:25	このヒアリングで一応その振り返りを文字起こしをさせていただいている ものですね、やはり具体の認識が取れているか、或いは説明すべき項 目なり、
00:11:38	ポイントっていうのが押さえられているかと。
00:11:41	いうことの確認はやっぱり資料の再提示がないと、確証が持てないところ があるので、それは出しといてもらわないと、審査会合でどういう言 い方をする必要があるのでっていうのが判断できない。
00:11:55	うん。それわあ、いつかというのは、早く目に行ってもらわないと、会 合準備が我々も取れないということがあるんです。
00:12:05	で、今日の話なので、いつと宣言しろというのもなかなか辛いところだ と思うん
00:12:13	ですけど。
00:12:15	多分、
00:12:17	表層はですね。
00:12:19	今話したこともあり、まだ1週間余裕がある。
00:12:24	来週のどこかでっていう話。
00:12:26	いいと思う。
00:12:29	なんですけど、
00:12:30	これ木曜日にできる事業の部分は、
00:12:33	月曜日のヒアリングで、翌週になるともう会合になっちゃうので、
00:12:41	何日間で最低限の作業できますか。
00:12:44	いうことを、
00:12:49	多分、月曜日のそのヒアリングの時に言ってもらわないと、
00:12:54	いけないのかな、こちらもどうしようかっていうのが判断できないかな と思うので、
00:13:01	今日の話の踏まえての資料を、
00:13:04	作業してる中で、他の含めて、どれぐらいで、
00:13:09	最低限っていうイメージを持ち、
00:13:12	金曜日の進め方の費用のときにはお話いただくっていうのは、日司な い。
00:13:24	古作ですけど、亀井さんその上で何かプラスここまでいいとか、何か舞 台の話があれば

00:13:33	上出さんフォローありがとうございました。
00:13:38	追加で何かって言うわけでもないんですけど、つぶやきとしては、あれですね競争は来週どっか出て、
00:13:47	岩盤の物性時とか非線形性については、これまで話をしている中でも、
00:13:54	あまり大きなところはなさそうなのでどっちかっていうと減衰を、
00:14:00	のところでなぜこう考えるんだ、一般的な考えはどうなんだっていうところを、今日話をして、振り返りをしたところの範囲ですね。
00:14:10	頑張ってもらって全体スケジュールで、サクサク進むようにということで考えてもらえればいいのかと思いました。以上です。
00:14:23	そういう意味では、
00:14:25	減衰のところがこれまで大分足りない。
00:14:28	ところがあり、木曜日に出してる資料である程度のものになっていると。月曜以降の、
00:14:36	対応。
00:14:37	この物量が十分
00:14:40	限定される。
00:14:42	ということで、20日に向けての対応が比較の見通しが出るということだと思ってるので、ぜひ、今日明日しかないですけど、
00:14:52	なるべくっていうことで、
00:14:58	規制庁の竹田です。
00:15:06	それでは本日のヒアリング概要とさせていただきます、
00:15:09	でした。ありがとうございました。